

第3号議案 2023 年度 活動方針の件

1. 2025 年夏季デフリンピックの日本招致実現に向け、デフスポーツをさらに発展させよう

2022 年 9 月に ICSD 総会にて東京が第 25 回夏季デフリンピック競技大会の開催地に正式決定されました。

当協会として、以下の活動を進めていきます。

- (ア) デフスポーツ団体や一般財団法人全日本ろうあ連盟と協働し、デフリンピックやデフスポーツの啓発をおこない、ハイレベルなアスリートの育成や若手選手を発掘し、国民や民間企業などに認知度を高めていきます。
- (イ) デフスポーツ及びデフリンピックの認知度向上に向け、去年 10 月から東京都や東京都バドミントン協会や一般財団法人全日本ろうあ連盟など多くの関係者と情報交換をおこない、連携しながら、準備を進めていきます。
- (ウ) 国内メディアに対してデフリンピックで実施される各競技の情報提供等を進め、デフリンピックやデフ競技の取材機会を増やし、認知度向上に繋げていきます。

2. デフバドミントンの認知度向上を目指した取組みを行おう

- (ア) 会員拡大を促進し、2022 年度より会員を増やします。
- (イ) 聞こえる人と一緒にバドミントンができるイベントを開催します。
- (ウ) 協会ホームページなど SNS を積極的に活用し、情報発信を行います。
- (エ) 協会オリジナルグッズの作成・販売を検討していきます。